

## 第4回第2期西東京市文化財保存・活用計画策定懇談会会議録

会議の名称	第4回 第2期西東京市文化財保存・活用計画策定懇談会
開催日時	令和6年2月26日(月) 10:00～12:00
開催場所	西東京市役所 田無庁舎イングリッドビル1階会議室
出席者	(委員) 入井委員、加藤委員、鈴木委員、都築委員、瀧島委員、青木委員、濱崎委員、古山委員 (事務局) 西東京市社会教育課 森主係長、亀田学芸員 ランドブレイン株式会社 宇井、花井
欠席者	小野委員、矢野委員
議題	1 開会 2 確認事項 (1) 前回議事録の確認 (2) 第2期西東京市文化財保存・活用計画検討の流れ (3) 第2期西東京市文化財保存・活用計画(素案)について (4) 概要版について 3 協議事項1 パブリックコメントの実施結果について 4 その他
会議資料	資料1 第3回懇談会議事録 資料2 第2期西東京市文化財保存・活用計画の検討の流れ 資料3 第2期西東京市文化財保存・活用計画(素案) 資料4 第2期西東京市文化財保存・活用計画—概要版 資料5 パブリックコメント実施結果
会議内容	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
<p>○座長 2. 確認事項(1) 前回の議事録の確認について、事務局よりお願いしたい。</p> <p>○事務局 (資料1について説明) 了承いただけるか。</p> <p>○座長</p>	

特にないため、発言者名ナシで公表する。次に、確認事項（２）について事務局より説明をお願いする。

○事務局

（資料２について説明）

○座長

ご意見、ご質問はあるか。次に確認事項（３）について事務局より説明をお願いする。

○事務局

（資料３、４について説明）

○座長

しばらく読んでいただき、お時間をいただく。

○委員

用語集 102 ページ「環状集落」は下野谷遺跡のみの説明か。

○事務局

「下野谷遺跡では」と追加する。

○座長

キーワードと用語集は連携しているか。市民調査員など入っていない。

○事務局

全体の用語集ではあるが、現在追加していない用語もあるため、説明を今後入れる。

○委員

地域型博物館は地域博物館ではないか。本文中と用語集が一致していない。

○事務局

地域博物館に修正する。74 ページの地域博物館をイメージしている。

○座長

47 ページ、今回の計画で重要な部分はキーワードの部分ではないかと思う。

目標４の子どもがど真ん中は抽象的で具体的に何をしたいかがわからない。「まちなか先生」を入れてもいいのではないか。文化財実物を利用した子どもたちの体験型学習などどうか。

○事務局

地域にいる人たちを学校教育に入ってもらおうという目標のため、ここに入れるのは合わない。

○座長

2つのモデルでいいか。新しい所だとひばりが丘団地や東大農場などもある意味魅力的な場所だと思う。広げて、いいところがたくさんあるということを伝えられないか。

第1期計画で都市計画と連携するという記載があるが、第2期ではどうなるか。

○事務局

文化財活用区域が都市計画との関わりもあるため、今回きちんと検討していない。現状の都市計画の中に文化財区域が落とし込まれていないため、都市計画課からも記載について意見が出ており、今回詳細は記載できない。総合計画ではまちづくりとして文化財は取り上げられているため、今後つくっていく。

○座長

まずは都市計画の中に文化的な意識を入れてもらうことが大事である。

○委員

ハード的なまちづくりは都市計画課か。

○事務局

ハード面は都市計画課である。

○委員

用地買収するなど、公有化でうまくからめられたらよい。東伏見公園と下野谷遺跡が隣接しているので、遺跡をアピールできるように東京都とも連携として、引き立てられるとよい。

○事務局

他課との関わり部分は文面修正できないが、連携していくというのは大事だと考えている。

今回、上位計画が変わるが、「地域博物館」や「下野谷遺跡」を入れてもらっているため、大きな一歩だと思う。

○委員

推進体制の充実が肝だと思う。

○委員

関連文化財群のストーリーが軸になっており、重視していくのだが、2つのモデルでウォークブルコースA～Fまでのコースがいかにもとってつけたものであるため、ストーリーを歩くことになっていないため、整合性がない。ストーリーを落とし込んだ方がいいと考える。

ウォークブルという言葉は歩きやすいなどという意味合いで商店街など小さな範囲の発想であるため、国交省の言葉だと考えている。

○委員

連携をとっていくには、あえてつなげるという意味合いでウォークブルを使った。歩いて楽しいという意味もある。

○委員

意味合いがしっかりしているのであればよいが、英語の意味合いも異なる。ストーリーと歩くルートは紐づけた方がよいと考える。

また、74 ページは郷土資料室の施設化のみで、地域博物館5-2ではなく5-3である。より明確になったことに持って行くには、市民に参加してもらい文化財を我が事として考える活動ができていないから必要という必要性を示した方がよいのではないか。設置だけではなく、新たな課題を実現するための設置ということを謳っていいのではないか。

田無と保谷それぞれの固有性が西東京市のトピックであるため、表紙もこれは田無、保谷とわかるような意識して書けるといいと思う。

6 ページ「天然記念物」も含まれる。文面中、民俗器具ではなく「民具」がよいか。

#### ○委員

表紙の写真は近代的な遺産も広く捉えているというものも伝えられたらよい。裏表紙でも。

ウォークブルの話は、キーワードと使わず括弧書きでもよい。ぶらぶら歩く・文化財をテーマに散歩する・まちを楽しむといったタイトルや文面でよいのではないか。

50、51 ページで目標4子どもがキーワードであるため、取組も子どもという言葉・表現を入れた方がよいのではないか。

72 ページ方向性まちなかの文化財の発見と周知について、「まちなか文化財」という言い方を作り、キーワード的にしてもよいのではないか。

子どもの課や協働コミュニティ課が入ってくれば、一体的になる。まちづくり系の部課が入っていないのが気になる。

75 ページまち歩きの歩きはひらがながよいかと思う。

近代化遺産もルートに入れられるとよい。

#### ○委員

まち歩きでコースが設定してもらえたら、行きやすいが、今のものはあまりおもしろくない。

自分にとっては文化財と思うような未指定文化財を含め、まちなかの文化財を「まちなか文化財」として、新しいルートをどんどんつくっていくことを盛り込めればよいのではないか。1回参加したからもう行かないではなく、新しいルートを更新していけたらよい。

ウォークブルという言葉は引っかかっている。魅力的なコースがあり歩いてみたいということが発想できるとよい。

表紙は文化財の写真はあってあるが、文化財を見ると心が落ち着くような地域の魅力が伝わるとよい。

概要版の下田家の写真が古いため、現状のものがよい。

#### ○委員

まちなか文化財という言葉にしてしまうのはいいと思う。まちなか文化財も指定文化財も含められる。

#### ○委員

11 ページ地域の講は写真と異なる。

#### ○事務局

写真を変えたい。西浦地蔵尊がよいか。

○委員

年寄りにとってウォークブルという言葉があるのかという言葉。日本語にしたい。まち歩きではおもしろくないが、西東京市としての文化財としていい言葉はないか。

郷土資料室は作り上げてきたデータベースがあるため、図書館と連携して郷土資料室も大事にしながら博物館への移行をどこかに加えてもらえたらよい。

まちなかの文化財が活きるような視点を持ち続けて、計画の頭に打ち出せたらよい。

○委員

歩いてみないとわからない、発見する文化財はある。歩くことはよい。

○座長

地域に住んでいる住民から話を聞くことはよい。

○委員

そのようなものを集積するのが地域博物館である。

まちなか文化財を全体に反映させるのは難しいが、ウォークブルのところで「まちなか文化財」を追加するのはどうか。目次・章立てで見えると良い。

○事務局

下野谷だけではないことを明確にしたい、ウォークブルを入れたが、本懇談会での意見をまとめて、修正したい。「歩いて楽しむまちなか文化財」といった言葉を入れたい。

75 ページの写真は小さいため、調整したい。

77 ページのイメージ図は、市が大きく、中心に見えるため、同じ大きさが良い。地域総がかりで行っていることがわかるとよい。

○委員

市が行うイベントと市民が行うイベントがあるが、市民が行ったり、屋敷林に入りたいなどの場合、市に問合せする統括的な窓口があるとよい。歴史を知りたくても市のホームページでは下野谷しか出てこない。図書館行かないと昔の写真は見られない。集約してあるとよい。

○委員

地域博物館がこのような機能をもつことになる。

○事務局

今のところ地域博物館は教育委員会の管轄となる。

○委員

博物館はランニングコストがとてかかる。必然性を押し出していないと夢になってしまうため、盛り込んでいただきたい。

○委員

いずれ博物館法、図書館法にのっとった施設になる。分野の専門家を招くなど人が人も必要である。社会教育課は大変だが、作っていくという思いは盛り込んでほしい。

○事務局

コアになる場所として地域博物館が必要であることをわかりやすく盛り込みたい。

○委員

異議はない。

○委員

今後、市民文化祭など映像で紹介できる機会を持ちたい。

《閉会》